

#### 《シャッターケース取付型》

この度は、本商品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。  
ご使用前に、本説明書をお読みいただき正しいご使用をお願い申し上げます。  
また、本説明書は運用中に参照する場合がありますので保存してください。

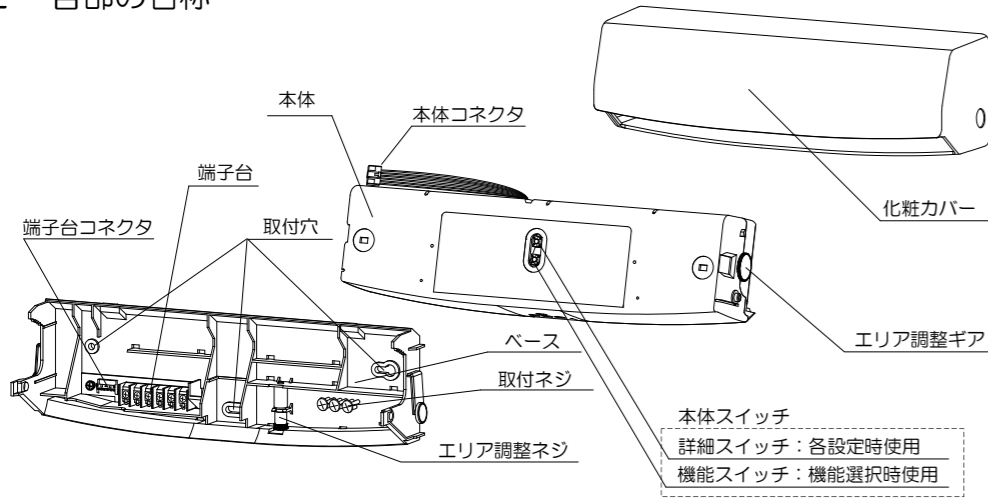
**警告** この表示は、『死亡または重症を負う可能性が想定される』内容です。

**注意** この表示は、『傷害を負う可能性または物的傷害が発生する可能性が想定される』内容です。

### 1 本機について

- ・本機は、5列×12スポットの高密度パターンにより検知エリアを構成したシャッター用センサーです。
- ・奥行き範囲は電氣的消去、および無段階の機構的角度調整を行えるため、検知エリアが自由に設定できます。
- ・検知エリア幅は電氣的消去、および左右独立したレンズボックスにより、詳細な調整が可能です。
- ・方向性検出機能により、検出する進入方向を設定することが可能です。
- ・リモコン(オプション)、および本体スイッチにより、機構的調整を除く設定を行うことができます。
- ・シャッター直下監視機能を使用する場合はくさび形ベース(オプション)を併用してください。

### 2 各部の名称



#### 〈付属品〉

- 取付型紙 取付型紙
- 光線式アクティブセンサー 取扱説明書(本書)
- 説明シール 説明シール  
(シートシャッターに使用する際、制御BOXに貼付けてください。)

### 3 設置上のご注意 ※小さな子供は、非検出となる場合がありますので、ご注意ください。

**注意** 本機を設置する前に、下記の注意事項の確認をお願い致します。

<p>1 取付高さは2.0m~6.5mの範囲内に設置してください。</p>	<p>2 検知エリア内に植木など揺動く物を入れないでください。誤動作の原因となります。</p>	<p>3 太陽光など反射光が、検出窓に直接あたる場所には設置しないでください。誤動作の原因となります。またリモコン操作ができなくなります。</p> <p>床が大理石、ハードアルミなど</p>	<p>4 雨や雪などが降りかからない場所に設置してください。漏電・破損の原因となります。</p>
<p>5 検知エリア内に雨や雪などが降り込む場合、誤動作の原因となります。</p>	<p>6 蒸気、油煙があたる場所には、設置しないでください。誤動作の原因となります。</p>	<p>7 干渉防止機能(4波)を備えていますが隣接して5台以上取付ける場合は、干渉により誤動作する場合があります。設置場所を確認のうえ、弊社もしくは販売店へお問い合わせください。</p>	<p>8 必ず補助センサーと併用してください。</p> <p>補助センサー</p>

### 4 設置方法

**警告** 本機は設置の際に取付穴をあけますが、感電などの事故を未然に防ぐため、加工部分の周辺に他の機器の配線がないことを確認してください。また、下記の点に注意して設置してください。

<p>1 取付位置を決め型紙を貼ります。型紙にあわせて取付穴(φ3.5mm)と通線孔(φ10mm)をあけてください。</p>	<p>2 本体より化粧カバーとベースをはずしてください。端子台コネクタから本体コネクタをはずしてください。</p>	<p>3 ベースを付属の取付ネジで取付けてください。締込みは下記順序にしたがい実施してください。 ①仮締め→②→③→①本締め</p>
<p>4 電源コード2本と出力コード4本を端子台と接続してください。</p> <p>端子台基板：配線位置図 電源に極性はあります。</p>	<p>電源コードと出力コードの先端は圧着端子(Y型)を使用し、サイズは指定サイズのものを使用してください。</p>	<p>5 端子台コネクタに本体コネクタを接続してください。</p> <p>端子台コネクタ 本体コネクタ</p>
<p>6 本体をベースに取付けてください。この時、ワイヤーを挟まさないようご注意ください。</p>	<p>7 設定と調整</p> <p>7 検知エリアの調整 6 リモコン・本体スイッチでの設定方法</p> <p>にしたがい、設定と調整を行ってください。リモコンでの調整は取付け後に化粧カバーを取付けて行ってください。</p>	<p>8 化粧カバーを本体に取付けてください。</p>

### 5 電源投入時のご注意

**警告** 本項目はシャッター直下監視機能を確保するために重要な項目です。必ずご一読いただき、動作を確認して正しく使用してください。

1 シャッター直下学習とは  
シャッター直下を監視するため、シャッター直下監視範囲のシャッターの動きを認識させる処理です。

2 シャッター直下学習の方法  
シャッター直下学習は、2つの方法があります。 **6-1 (5) 1列目設定** をご参照ください。

(1)強制  
①電源投入後またはリセット後に下記の流れで処理が実行されます。処理中は、検知エリアに入らないでください。

シャッター開放時は検知表示灯が赤色点灯し、シャッター閉鎖時は検知表示灯が青色点灯します。シャッター直下学習中はリモコン確認表示灯が黄色点灯し、学習終了後消灯します。学習動作終了まで、シャッター開閉中の動作時間に加え、最大で約11秒が必要です。

② シャッター直下学習中に検知エリア内で物体を検出した場合、「(2)自動②」に移行して学習を継続します。

(2)自動  
① 電源投入後またはリセット後にはシャッター直下学習を行いません。  
② 検出によるシャッターの開閉確認(約11秒間隔/回)を、最大3回チェックして学習動作を終了します。確認条件不備の場合は、足りない回数分のみ確認動作を延長します。

3 シャッター直下監視範囲以外の監視  
電源投入後またはリセット後、15秒間は検知エリア内に入らないでください。この15秒間は動く人や物体の監視を行い、静止している人や物体の監視を行いません。15秒間、検知エリア内に人や物体が入らない状態が続くと、設定された限定静止時間で静止している人や物体の監視を開始します。  
\*シャッター直下学習動作とは連動せず、電源投入後すぐに監視となります。  
\*限定静止を∞秒に設定した場合、床面に急激な変化があった時は、シャッター開放の状態となりますのでご注意ください。その場合は、一度電源を切って再投入してください。

4 電源投入時の一般的な注意事項  
下記の作業を行う場合は、必ず電源を切ってから行ってください。通電時に行いますと、限定静止で設定されている時間、検出状態となります。  
\*布製のマットまたは樹脂製の泥落としなどを検知エリア内に敷く場合や、これらを取去る場合。  
\*検知エリアの調整を行う場合。

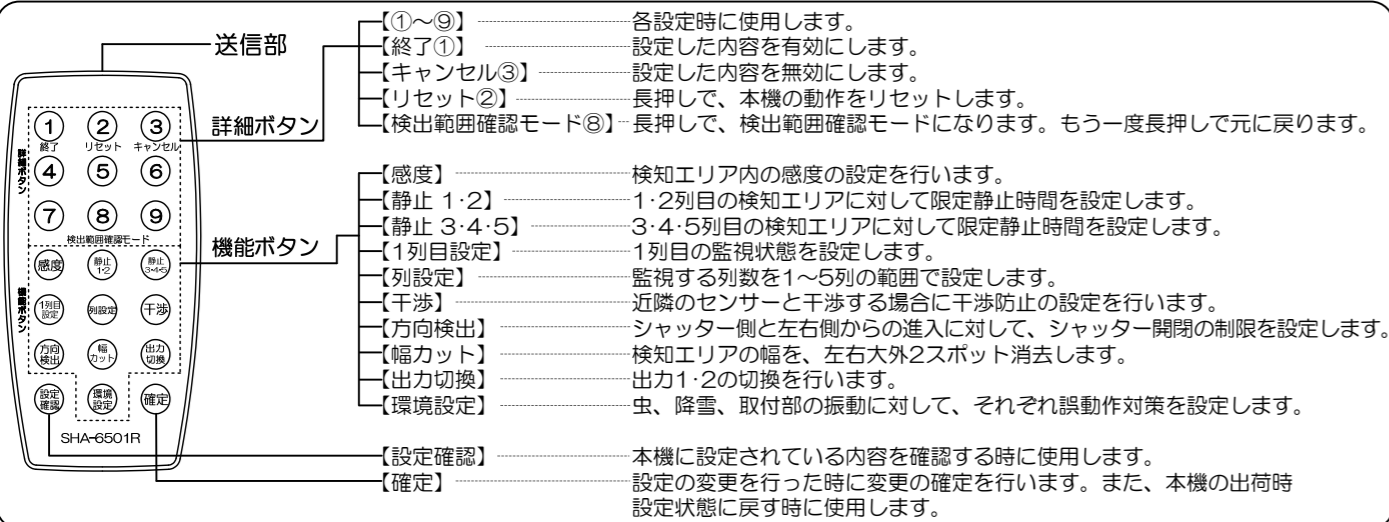
5 本機を補助センサーとして使用する場合の注意事項  
1列目設定を「シャッター直下監視自動/シャッター直下監視強制」に設定すると、限定静止で設定している時間、検出状態となる場合がありますので、1列目設定を「なし」に設定してください。

## 6 リモコン(オプション)・本体スイッチでの設定方法

### 6-1 リモコンによる設定方法

※DA-6500R(リモコン)を使用されて設定する場合は  
手動検知→出力切換/個別コード→環境設定/1列目カット→1列目設定  
と読換えて、ご使用出来ます。

リモコン各部の名称



本機の検知表示灯およびリモコン確認表示灯が見える位置に移動し、各表示灯を確認しながらリモコンの操作を行ってください。

- ◎リモコンは、化粧カバーを取付けた状態でも操作は可能です。
- ◎本機を3.5m以下に取付けた際には検知エリア外に出て操作を行ってください。
- ◎送信部を本機に向けてリモコンの操作を行ってください。

- 注意**
- 設定する際は、正しい手順で操作を行ってください(設定範囲外の詳細ボタンが押された場合は検知表示灯の『赤』が1回点滅します)。誤った操作を行うと設定がされなかったり本機が正常に動作しないことがあります。
  - 設定中は、本機は動きません。
  - 設定後は、必ず本機の動作確認を行ってください。

#### 機能設定手順表

手順1	手順2						手順3	手順4				手順5	完了
機能ボタン	詳細ボタン						機能ボタン	詳細ボタン					
	①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④			
【感度】	1(低)	2	3	4	5	6(高)							
【静止 1・2】	2秒	10秒	30秒	∞秒									
【静止 3・4・5】	2秒	10秒	30秒	∞秒									
【1列目設定】	通常	なし	自動	強制									
【列設定】	1列	2列	3列	4列	5列								
【干渉】	A	B	C	D									
【方向検出】	全方向	横CL(弱)	横CL(強)	出CL	横出CL(弱)	横出CL(強)	方向検出	近傍列あり	近傍列なし				【確定】
【幅カット】	なし	左	右	左右									【確定】
【出力切換】	出力1						出力切換	全列NO	全列NC	3・4・5列NO	3・4・5列NC		【確定】
【環境設定】	虫対策	環境対策					環境設定	なし	低	中	高		【確定】
		環境自動						固定	自動				
			振動対策					なし	あり				

\* 網掛け部は、出荷時設定を表します。

#### (1) 出荷時設定

◎各機能設定した情報をおよび解除し、本機を出荷時設定状態に戻します。

手順	リモコン	本体スイッチ	検知表示灯	リモコン確認表示灯
1	【確定】を押します	機能、詳細スイッチを同時に押します	消灯	全色が点滅
2	詳細ボタン【9】を押します	詳細スイッチを3回押します	消灯(リモコン) 『赤』が3回点滅(本体スイッチ)	
3	【設定確認】を押します	機能、詳細スイッチを同時に押します	『赤』が点滅した後、点灯(監視状態)	

#### (2) 感度設定

◎検知エリア内の感度を設定します。感度は6段階です。「6」が最高感度で数字が下がると感度が低くなります。

手順	リモコン	本体スイッチ	検知表示灯	リモコン確認表示灯	
1	機能ボタン【感度】を押します	機能スイッチを1回押します	消灯	『赤』が点滅	
2 (選択)	感度「1」(低)	詳細ボタン【1】を押します	詳細スイッチを1回押します		『青』が1回点滅
	感度「2」	詳細ボタン【2】を押します	詳細スイッチを2回押します		『青』が2回点滅
	感度「3」	詳細ボタン【3】を押します	詳細スイッチを3回押します		『青』が3回点滅
	感度「4」	詳細ボタン【4】を押します	詳細スイッチを4回押します		『青』が4回点滅
	感度「5」	詳細ボタン【5】を押します	詳細スイッチを5回押します		『青』が5回点滅
	感度「6」(高)	詳細ボタン【6】を押します	詳細スイッチを6回押します	『青』が6回点滅	
3	【確定】を押します	機能、詳細スイッチを同時に押します	消灯	全色が点滅	
4 (選択)	完了	詳細ボタン【1】(終了)を押します	詳細スイッチを1回押し、機能、詳細スイッチを同時に押します	『青』が点滅した後、点灯(監視状態)	
	キャンセル	詳細ボタン【3】(キャンセル)を押します	詳細スイッチを2回押し、機能、詳細スイッチを同時に押します	『赤』が点滅した後、『青』が点灯(監視状態)	

#### (3) 静止1・2列目設定

◎シャッター側(内側)から数えて1列目・2列目の検知エリアに対して限定静止時間を設定します。

手順	リモコン	本体スイッチ	検知表示灯	リモコン確認表示灯	
1	機能ボタン【静止 1・2】を押します	機能スイッチを2回押します	消灯	『黄』が点滅 『赤』が点滅	
2 (選択)	「2秒」	詳細ボタン【1】を押します	詳細スイッチを1回押します		『青』が1回点滅
	「10秒」	詳細ボタン【2】を押します	詳細スイッチを2回押します		『青』が2回点滅
	「30秒」	詳細ボタン【3】を押します	詳細スイッチを3回押します		『青』が3回点滅
	「∞秒」	詳細ボタン【4】を押します	詳細スイッチを4回押します		『青』が4回点滅

手順3、4は(2)感度設定の手順3、4と同じです

#### (4) 静止3・4・5列目設定

◎シャッター側(内側)から数えて3列目・4列目・5列目の検知エリアに対して限定静止時間を設定します。

手順	リモコン	本体スイッチ	検知表示灯	リモコン確認表示灯	
1	機能ボタン【静止 3・4・5】を押します	機能スイッチを3回押します	消灯	『黄』が点滅 『青』が点滅	
2 (選択)	「2秒」	詳細ボタン【1】を押します	詳細スイッチを1回押します		『青』が1回点滅
	「10秒」	詳細ボタン【2】を押します	詳細スイッチを2回押します		『青』が2回点滅
	「30秒」	詳細ボタン【3】を押します	詳細スイッチを3回押します		『青』が3回点滅
	「∞秒」	詳細ボタン【4】を押します	詳細スイッチを4回押します		『青』が4回点滅

手順3、4は(2)感度設定の手順3、4と同じです

#### (5) 1列目設定

◎シャッター側(内側)から数えて1列目を通常監視/なし/シャッター直下監視自動/シャッター直下監視強制のいずれかに設定してください。

通常監視に設定すると、シャッター直下監視機能がありませんので、シャッターを引掛けないようにしてください。

手順	リモコン	本体スイッチ	検知表示灯	リモコン確認表示灯	
1	機能ボタン【1列目設定】を押します	機能スイッチを4回押します	消灯	『黄』『赤』が点滅	
2 (選択)	「通常監視」	詳細ボタン【1】を押します	詳細スイッチを1回押します		『青』が1回点滅
	「なし」	詳細ボタン【2】を押します	詳細スイッチを2回押します		『青』が2回点滅
	「シャッター直下監視自動」	詳細ボタン【3】を押します	詳細スイッチを3回押します		『青』が3回点滅
	「シャッター直下監視強制」	詳細ボタン【4】を押します	詳細スイッチを4回押します		『青』が4回点滅

手順3、4は(2)感度設定の手順3、4と同じです

#### (6) 列設定

◎監視する検知エリアの列数を1～5列の範囲で設定します。検知エリアに関しては、7 検知エリアの調整を参照してください。1～5列とは、シャッター側(内側)から数えて1～5列目をいいます。

手順	リモコン	本体スイッチ	検知表示灯	リモコン確認表示灯	
1	機能ボタン【列設定】を押します	機能スイッチを5回押します	消灯	『青』『赤』が点滅	
2 (選択)	「1列監視」	詳細ボタン【1】を押します	詳細スイッチを1回押します		『青』が1回点滅
	「2列監視」	詳細ボタン【2】を押します	詳細スイッチを2回押します		『青』が2回点滅
	「3列監視」	詳細ボタン【3】を押します	詳細スイッチを3回押します		『青』が3回点滅
	「4列監視」	詳細ボタン【4】を押します	詳細スイッチを4回押します		『青』が4回点滅
	「5列監視」	詳細ボタン【5】を押します	詳細スイッチを5回押します		『青』が5回点滅

手順3、4は(2)感度設定の手順3、4と同じです

#### (7) 干渉設定

◎近隣のセンサーと干渉する場合に干渉防止の設定を行います。近隣にセンサーがある場合は異なった設定を行ってください。

手順	リモコン	本体スイッチ	検知表示灯	リモコン確認表示灯	
1	機能ボタン【干渉】を押します	機能スイッチを6回押します	消灯	『青』『黄』が点滅	
2 (選択)	「A」	詳細ボタン【1】を押します	詳細スイッチを1回押します		『青』が1回点滅
	「B」	詳細ボタン【2】を押します	詳細スイッチを2回押します		『青』が2回点滅
	「C」	詳細ボタン【3】を押します	詳細スイッチを3回押します		『青』が3回点滅
	「D」	詳細ボタン【4】を押します	詳細スイッチを4回押します		『青』が4回点滅

手順3、4は(2)感度設定の手順3、4と同じです

#### (8) 方向検出設定

◎シャッターを通してシャッター側の検知エリアから進入する場合と横方向\*1から検知エリアに進入する場合において、開閉制限をします。

手順	リモコン	本体スイッチ	検知表示灯	リモコン確認表示灯	
1	機能ボタン【方向検出】を押します	機能スイッチを7回押します	消灯	『青』が点滅	
2 (選択)	「シャッター側から進入開、横方向から進入開」	詳細ボタン【1】を押します	詳細スイッチを1回押します		『青』が1回点滅
	「シャッター側から進入開、横方向：弱*2から進入開」	詳細ボタン【2】を押します	詳細スイッチを2回押します		『青』が2回点滅
	「シャッター側から進入開、横方向：強*3から進入開」	詳細ボタン【3】を押します	詳細スイッチを3回押します		『青』が3回点滅
	「シャッター側から進入開、横方向から進入開」	詳細ボタン【4】を押します	詳細スイッチを4回押します		『青』が4回点滅
	「シャッター側から進入開、横方向：弱から進入開」	詳細ボタン【5】を押します	詳細スイッチを5回押します		『青』が5回点滅
	「シャッター側から進入開、横方向：強から進入開」	詳細ボタン【6】を押します	詳細スイッチを6回押します		『青』が6回点滅

手順3、4は(2)感度設定の手順3、4と同じです

\*1 横方向とは、シャッター面に対して平行方向をいいます。

\*2 横方向：弱とは、シャッター側へ斜めに進入した場合に開き易くなります。

\*3 横方向：強とは、シャッター側へ斜めに進入しても開き難くなります。

横方向：弱で平行に進入してもシャッターが開いてしまう場合に設定してください。

#### 注意

- 方向性検出中に他の人や揺動物が進入した場合、検出が行われ(不定)時があります。この場合は、検知エリア内に人や揺動物がない状態から再進入してください。
- 方向性検出は取付高さや使用環境および対象物の大きさや動き方により、性能を発揮しない場合があります。

### (9) シャッター近傍列※1設定

手 順	リモコン	本体スイッチ	検知表示灯	リモコン確認表示灯
1	(8)方向検出設定の手順1、2と同じです	機能ボタン【方向検出】を押します	消灯	『青』が点灯
2			『青』が1回点滅	
3			『青』が2回点滅	
4 (選択)	機能ボタン【方向検出】を押します 詳細ボタン【1】を押します 詳細ボタン【2】を押します	機能スイッチを8回押します 詳細スイッチを1回押します 詳細スイッチを2回押します	消灯 『青』が1回点滅 『青』が2回点滅	『青』が点灯 『赤』が点滅

手順5、6は(2)感度設定の手順3、4と同じです  
 ※1 シャッター近傍列とは、シャッターに最も近い列をいいます。1列目設定がシャッター直下監視の場合、シャッター側から数えて2列目が近傍列となります。  
 ※2 「シャッター近傍列あり」に設定した場合、シャッター近傍列は進入方向によってシャッター開閉を制限します。  
 ※3 「シャッター近傍列なし」に設定した場合、シャッター近傍列は進入方向に関係なくシャッターを開閉します。

### (10) 幅カット設定

◎検知エリアの 右と左の幅を電氣的に調整します。機構的に検知エリア調整を行う方法もありますので、

7 検知エリアの調整 を参照して設置環境にあった設定を行ってください。

手 順	リモコン	本体スイッチ	検知表示灯	リモコン確認表示灯
1	機能ボタン【幅カット】を押します	機能スイッチを9回押します	消灯	『青』『黄』 が交互に点滅
2 (選択)	「カットなし」	詳細ボタン【1】を押します	『青』が1回点滅	
	「左側カット」	詳細ボタン【2】を押します	『青』が2回点滅	
	「右側カット」	詳細ボタン【3】を押します	『青』が3回点滅	
	「両側カット」	詳細ボタン【4】を押します	『青』が4回点滅	

手順3、4は(2)感度設定の手順3、4と同じです

### (11) 出力切換設定

◎出力1(全列または3・4・5列)の切換を行います。

手 順	リモコン	本体スイッチ	検知表示灯	リモコン確認表示灯
1	機能ボタン【出力切換】を押します	機能スイッチを10回押します	消灯	『黄』『赤』 が同時に点滅
2	詳細ボタン【1】を押します		『青』が1回点滅	
3	機能ボタン【出力切換】を押します		消灯	
4 (選択)	「全列 N.O.」 「全列 N.C.」 「3・4・5列 N.O.」 「3・4・5列 N.C.」	詳細ボタン【1】を押します 詳細ボタン【2】を押します 詳細ボタン【3】を押します 詳細ボタン【4】を押します	『青』が1回点滅 『青』が2回点滅 『青』が3回点滅 『青』が4回点滅	

手順5、6は(2)感度設定の手順3、4と同じです

◎出力2(1・2列)の切換を行います。

手 順	リモコン	本体スイッチ	検知表示灯	リモコン確認表示灯
1	機能ボタン【出力切換】を押します	機能スイッチを11回押します	消灯	『黄』『青』 が同時に点滅
2	詳細ボタン【2】を押します		『青』が2回点滅	
3	機能ボタン【出力切換】を押します		消灯	
4 (選択)	「1・2列 N.O.」 「1・2列 N.C.」	詳細ボタン【1】を押します 詳細ボタン【2】を押します	『青』が1回点滅 『青』が2回点滅	

手順5、6は(2)感度設定の手順3、4と同じです

### (12) 環境設定

◎虫、降雪、取付部の振動に対して、それぞれ誤動作対策を設定します。降雪で誤動作が生じる場合は「環境対策 低/中/高」のいずれかに設定してください。また、「環境自動 固定/自動」のいずれかに設定してください。固定設定の場合、外気温に関係なく 環境対策で設定した値になります。自動設定の場合、外気温が下がると環境対策設定した値になります。外気温が下がらない時は、「環境対策 なし」になります。

◎虫対策設定

手 順	リモコン	本体スイッチ	検知表示灯	リモコン確認表示灯
1	機能ボタン【環境設定】を押します	機能スイッチを12回押します	消灯	『赤』が点灯
2	詳細ボタン【1】を押します		『青』が1回点滅	
3	機能ボタン【環境設定】を押します		消灯	
4 (選択)	「なし」 「あり」	詳細ボタン【1】を押します 詳細ボタン【2】を押します	『青』が1回点滅 『青』が2回点滅	

手順5、6は(2)感度設定の手順3、4と同じです

◎環境対策設定

手 順	リモコン	本体スイッチ	検知表示灯	リモコン確認表示灯
1	機能ボタン【環境設定】を押します	機能スイッチを13回押します	消灯	『赤』が点灯
2	詳細ボタン【2】を押します		『青』が2回点滅	
3	機能ボタン【環境設定】を押します		消灯	
4 (選択)	「なし」 「低」 「中」 「高」	詳細ボタン【1】を押します 詳細ボタン【2】を押します 詳細ボタン【3】を押します 詳細ボタン【4】を押します	『青』が1回点滅 『青』が2回点滅 『青』が3回点滅 『青』が4回点滅	

手順5、6は(2)感度設定の手順3、4と同じです

◎環境自動設定

手 順	リモコン	本体スイッチ	検知表示灯	リモコン確認表示灯
1	機能ボタン【環境設定】を押します	機能スイッチを14回押します	消灯	『青』『赤』 が同時に点滅
2	詳細ボタン【3】を押します		『青』が3回点滅	
3	機能ボタン【環境設定】を押します		消灯	
4 (選択)	「固定」 「自動」	詳細ボタン【1】を押します 詳細ボタン【2】を押します	『青』が1回点滅 『青』が2回点滅	

手順5、6は(2)感度設定の手順3、4と同じです

◎振動対策設定

手 順	リモコン	本体スイッチ	検知表示灯	リモコン確認表示灯
1	機能ボタン【環境設定】を押します	機能スイッチを15回押します	消灯	『赤』『青』が点灯
2	詳細ボタン【4】を押します		『青』が4回点滅	
3	機能ボタン【環境設定】を押します		消灯	
4 (選択)	「なし」 「あり」	詳細ボタン【1】を押します 詳細ボタン【2】を押します	『青』が1回点滅 『青』が2回点滅	

手順5、6は(2)感度設定の手順3、4と同じです

### (13) 各設定の確認

◎本機に設定されている内容を確認する時に使用します。手順2の機能ボタン押した後、10秒間いかなるボタンも押さなければ監視状態に戻ります。

手 順	リモコン	本体スイッチ	検知表示灯	リモコン確認表示灯
1	【設定確認】を押します	機能スイッチを16回押します	消灯	消灯
2	設定を確認したい機能ボタンを押します※1 (続けて設定の確認をしたい場合は繰り返します)	設定を確認したい機能になるまで機能スイッチを押します。(例：感度 1回 振動対策 15回)	『青』が詳細ボタンの数字と同じ回数点滅	指定した各設定を表示します

※1 方向検出設定は1度押すごとに方向検出→シャッター近傍列の設定を確認することができます。  
 出力切換設定は1度押すごとに出力1→出力2の設定を確認することができます。  
 環境設定は1度押すごとに虫対策→環境対策→環境自動→振動対策の設定を確認することができます。

### (14) 検出範囲確認モード

◎何列目が検出しているのかを、リモコン確認表示灯で確認できます。

項 目	操作方法	検知表示灯	リモコン確認表示灯
開始	詳細ボタン【8】を長押し(2秒以上)します	検出時『赤』点灯/ 非検出時『青』点灯	検出列 1列目：『青』が点灯 2列目：『黄』が点灯 3列目：『赤』が点灯 4列目：『青』『赤』が同時に点灯 5列目：『黄』『赤』が同時に点灯
終了	詳細ボタン【8】を長押し(2秒以上)します		

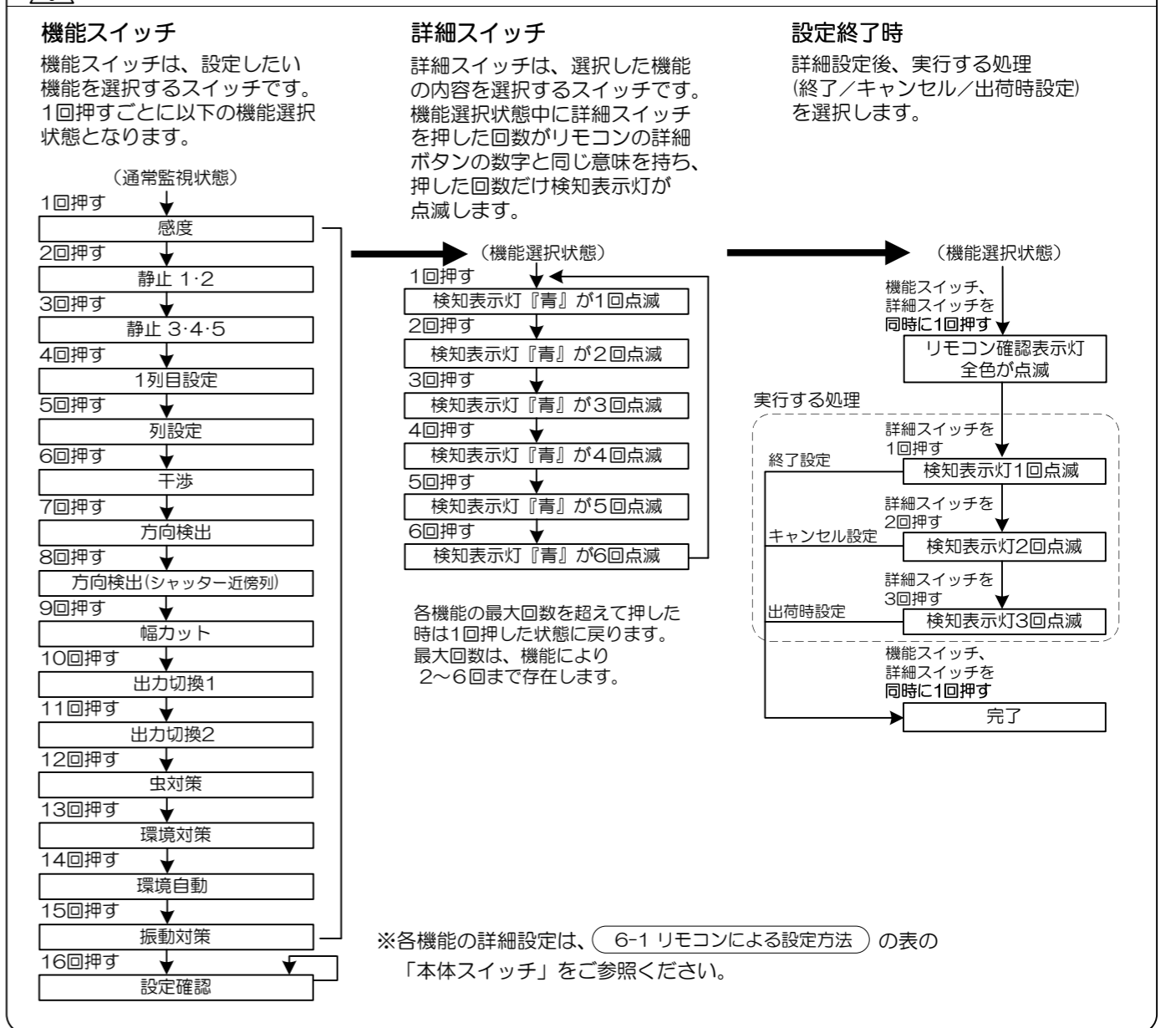
注)運用の際には検出範囲確認モードを必ず終了してください。

### (15) リセット(電源投入時と同じ状態)

手 順	検知表示灯	リモコン確認表示灯
1 詳細ボタン【2】(リセット)を長押し(2秒以上)します	『赤』点滅	全色が点滅

## 6-2 本体スイッチによる設定方法

⚠注意 本体スイッチは、ゆっくり(1秒以上)確実に押してください。



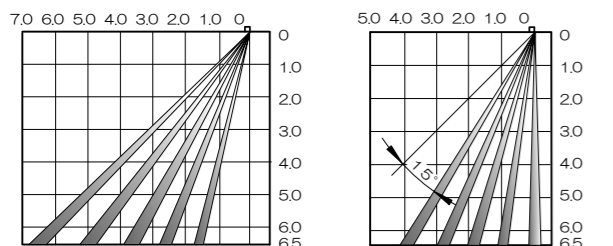
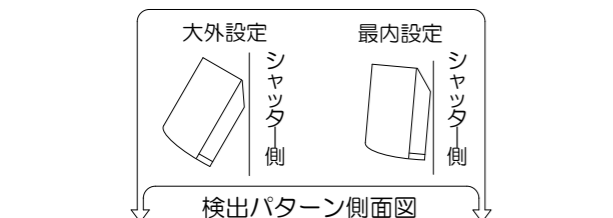
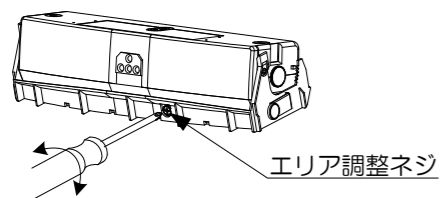


## 7 検知エリアの調整

**注意** 記載されているパターンは設計値です。設置後の状態を正確に示すものではありません。検知エリアは取付環境、検出対象、調整など(服装や床面材質および感度調整)によって変動しますので設置後検知エリアと感度の確認を必ず行ってください。

### 1 奥行き範囲の調整

本体を動かすことにより0°(最内)~15°(大外)の調整ができます。奥行き範囲の可変はエリア調整ネジをドライバーで回転することにより無段階で調整ができます。



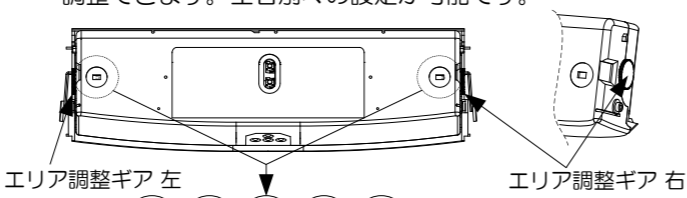
検出パターン大外図(単位m) 検出パターン最内図(単位m)

奥行き範囲の調整は **6-1 (6)列設定**

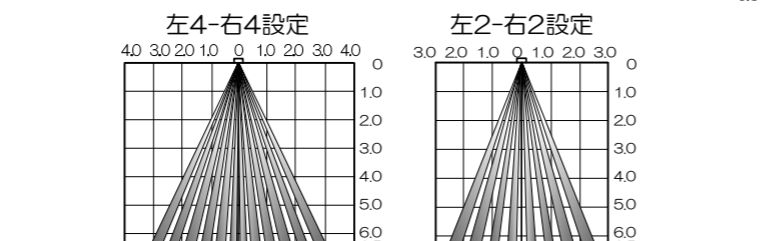
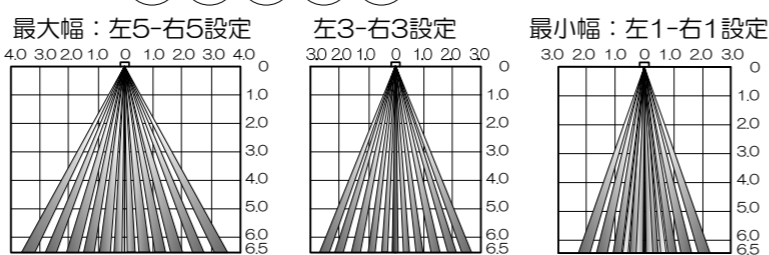
の奥行き切り換え方法も合わせて調整してください。

### 2 横幅範囲の調整

検知エリアの横幅の調整は、エリア調整ギアで調整してください。本機は検知エリアを消去するだけではなく、左右の検知エリア全体が中央に向かって移動する方法をとっておりますので、検知エリア全体の幅を細かく調整できます。左右別々の設定が可能です。



エリア調整ギア 左 1 2 3 4 5 左右別々に、5段階設定



検出パターン正面図(単位m)

検知エリア消去の方法は **6-1 (10)幅カット設定** を参照してください。

## 8 動作確認

**注意** ① エリア調整ギア および エリア調整ネジで検知エリア調整をする時は一度電源を切ってください。  
② 再投入時には、**5 電源投入時のご注意** にしたがって電源を入れ直してください。  
ただし、リモコン・本体スイッチでの検知エリア消去・感度調整の際には、電源は切らないでください。

- 取付け、設定および調整が終わりましたら電源を投入し検知エリアの確認を行ってください。
- 本機が動作しなかったり、誤動作をする場合は再度検知エリアの調整を行ってください。
- 感度設定は、本機の取付高さに合わせて設定してください。設定方法は、**6-1 (2)感度設定** をご参照ください。表の設定は目安です。現場に合わせて設定を行ってください。
- シャッター直下監視列強入力(リモコン確認表示灯が青色・黄色・赤色点灯)が発生した場合、エリア調整ネジで本体角度を調整してください。または、感度設定を1段階上げてください。エリア調整ネジで本体角度を調整した場合、必ず電源再投入するか、リモコンでリセットを行ってください。

取付高さ(m)	感度(目安)
6.0~6.5	6
5.0~6.0	5
4.0~5.0	4
3.0~4.0	3
2.0~3.0	2

## 9 動作表示LEDの説明

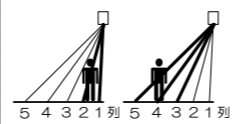
動作時	検知表示灯	リモコン確認表示灯
通電待機中	青色点灯	消灯
検出中	赤色点灯	消灯
リセット時	青色/赤色点滅	青色・黄色点滅
シャッター直下学習中	青色/赤色点灯	黄色点灯
シャッター直下学習終了	青色点灯	消灯

異常	検知表示灯	リモコン確認表示灯
本機異常時		黄色点滅
左(青色側)ユニット異常時		青色点滅
右(赤色側)ユニット異常時		赤色点滅
シャッター直下監視列強入力		青色・黄色・赤色点灯

## 10 検出出力

検出出力は出力1(a接点)と出力2(c接点)があります。出力1は全列または、3・4・5列の(N.O./N.C.)切り換えができます。出力2は1・2列の(N.O./N.C.)の、切り換えができます。設定方法は **6-1 (11)出力切り換え設定** をご確認ください。

各進入動作時の接点出力	出力方法				
	全列	N.O./N.C.	無通電時	通電待機時	1~2列検出時
出力1 端子台配線③④	3・4・5列	N.O./N.C.	○	○	○
出力2 端子台配線④⑤	1・2列	N.O./N.C.	○	○	○
出力2 端子台配線④⑥	1・2列	N.O./N.C.	○	○	○



## 11 異常時の点検と処置

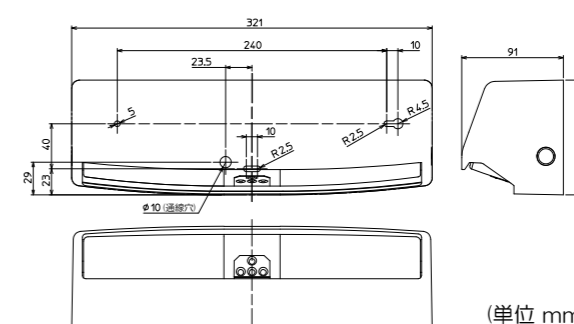
症状	原因	点検と処置
動作しない	配線・コネクタ不良 電源・電圧不具合	配線およびコネクタを確認してください。 定格内の電源・電圧を使用してください。
時々動作しない	検出窓がホコリ、水滴などで汚れている 感度不足 検知エリア不适当	中性洗剤を含んだ軟らかい布で拭取ってください。(シンナー、アルコールなどの薬品は使用できません。) 感度設定を1段階上げてください。 リモコン(オプション)・本体スイッチおよびエリア調整ネジ、エリア調整ギアを使い検知エリアを再調整してください。
自然開閉(ハンチング)を行う	・シートシャッターが閉じた時にシートが膨らんでしまい、1列目で検出する。 ・検出エリアの1列目がシャッターに掛かっている。 (『通常監視』以外では2列目)	エリア調整ネジで検知エリアをシャッターから離してください。または、1列目設定を通常以外に設定してください。シャッターを開閉を行い、検知表示灯が青色点滅にならないようにしてください。
人が居ないのに勝手に動作する	検知エリア内に揺れ動く物がある	検知エリアを調整するか、揺れ動くものを移動してください。
	通行人が検知エリア内を通行する	リモコン(オプション)・本体スイッチおよびエリア調整ネジ、エリア調整ギアを使い検知エリアを再調整してください。
	感度が高い	感度設定を1段階下げてください。
	他のセンサーの検知エリアが重なっている	干渉防止設定が同一にならないように切換えてください。
	検知エリア内の状態が急に变化した ・検知エリア内が急に汚れた ・検知エリア内に雪が積もり雪の上に足跡がついた ・布製のマットを敷いた	静止設定されている時間、シャッターが開放となる場合があります。その後正常動作となりますが、限定静止時間を短くしてください。
本体に多量の雨や雪が降りかかる	本体に多量の雨や雪が降りかかると誤動作、漏電、破損の原因になります。多量の雨や雪が降りかかる場所へは設置しないでください。	

以上の点検と処置後もなお異常動作を続ける場合は、販売店または弊社までご連絡ください。また、定期的に点検を行うようお願い致します。

## 12 仕様

品名	光線式アクティブセンサー	
検出方式	近赤外線反射方式	
取付高さ	最低2.0m~最高6.5m	
感度調整機能	感度(6段階、オートゲイン機能付)	
検知エリア可変範囲	奥行き範囲	エリア調整ネジ(本体調整角度0°~15°)および1列~5列監視
	横幅範囲	エリア調整ギア(調整角度左右各々0°~10°)および左右外側列消去
電源電圧	AC/DC12~24V±10%	
消費電力/電流	AC24V時: 3.7VA以下	AC12V時: 3.3VA以下
	DC24V時: 120mA以下	DC12V時: 210mA以下
出力	出力1: 無電圧リレー接点1a DC50V 0.1A(抵抗負荷) 出力2: 無電圧リレー接点1c DC50V 0.1A(抵抗負荷)	
出力保持時間	約0.5秒	
検出時間	限定静止(2秒/10秒/30秒/∞秒)	
方向性検出機能	全方向検出/横方向進入非検出/シャッター側からの進入非検出/横方向およびシャッター側からの進入非検出 <b>6 リモコン・本体スイッチでの設定方法</b> の方法に必要な設定を4方式から選択が可能	
動作/異常時表示	動作と異常時表示灯は <b>9 動作表示LEDの説明</b> を参照してください。 検出範囲確認モードに対しては、 <b>6-1 (14)検出範囲確認モード</b> を参照してください。	
リモコン確認表示	リモコン・本体スイッチ操作時の表示は <b>6 リモコン・本体スイッチでの設定方法</b> に記載	
使用可能周囲温度	-20℃~+60℃	
質量	約830g	化粧カバー色 S: シルバー W: ホワイト
付属品	取付型紙、取扱説明書、説明シール	

## 13 外形寸法図



### ■免責事項について■

- 弊社の商品は各種の監視、警報、起動、威嚇、忌避、制御、護身、ヘルスケア用途などに使用するので盗難防止器、犯行防止器、災害防止器、環境破壊防止器、人身事故防止器、医療用機器ではありません。万一発生した盗難事故、人身事故、災害事故、環境破壊事故、施工上の不備などによる事故損害については責任を負いかねます。
- 本商品の取り付け、取りはずし時の事故が発生した怪我、損害については、弊社は一切の責任を負いません。
- 本商品の取り付け、取りはずしによる建物などへの損傷については、弊社は一切の責任を負いません。
- 地震・雷(誘導雷サージを含む)および弊社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- 本商品の使用または使用不能から生ずる随時的な損害(事業利益の損失、事業の中断、記憶内容の変化・消失、通信上の損失・機会消失など)に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- 保守点検や施工上の不備、取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- 弊社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作(誤報・失報を含む)などから生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- 本商品に関していかなる場合も、弊社の費用負担は本商品の価格内とします。

## TAKEX 竹中エンジニアリング株式会社

事業本部 〒607-8156 京都市山科区東野五条通外環西入83-1 TEL(075)594-7211(代) FAX(075)501-2085  
札幌・仙台・郡山・高崎・さいたま・千葉・東京・立川・横浜・長野・静岡・名古屋・金沢・京都・大阪・神戸・広島  
高松・福岡・熊本・U.S.・U.K.・AUS.  
https://www.take-ex-eng.co.jp/

●仕様など予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

\*品質に関しては、当社の品質保証規定に基づき保証させていただきます。万一不具合な点がございましたら、お買上の販売店にお申し出ください。